

第55回 定例会

日時 令和3年5月1日(土) 15:00~17:00
場所 自治会館
ゲスト 2名(危機管理担当者、他地区自治会会員)
出席者 11名

■環境省「人とペットの災害対策ガイドライン 災害への備えチェックリスト」について意見
https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/r0303b/full.pdf



- P1 このチェックリストは、市区町村などの基礎自治体が行う災害への平時の備えと、災害発生後に迅速に行わなければならない基本的な行動を確認するために作成したものである。危機管理とも情報共有しながら、ペットとぼうさいのマニュアル作成の参考にとすると良い。
- P6 要配慮者への対応：視覚障害、聴覚障害などを持調べる。つ方と身体障害者補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)への対応について、熊本地震を体験した人にどのような状況だったのかの聞き取りを行う。
- P8 ペットの受入れが可能な避難所、受入れができない避難所等の所在を公表することについて危機管理に確認が必要。
- P28 「モデル図上訓練から見えて課題」資料を確認。
- P34 「チェックリストのまとめ」資料を確認。
- P38 「人とペットの災害対策に関する環境省出版物」YouTube動画を、今後のペットとぼうさいの活動でも活用したい。

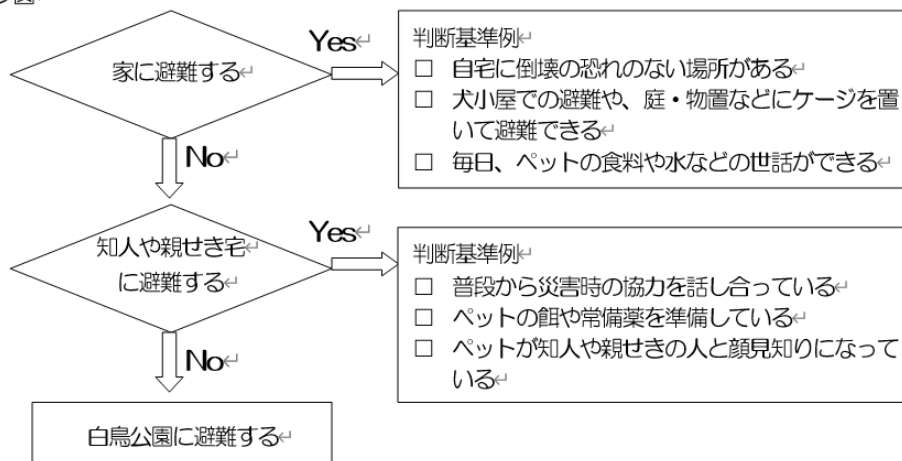
■避難マニュアルについて意見

1 「クレート」単語の扱いについて

- 今後の啓発活動に於いて「クレートトレーニング」の説明や紹介をすることになる。一般的には、「クレート」という単語は馴染が無いが、今後は「クレートトレーニング」という単語として登場する機会があるため、マニュアルにも「クレート」という単語は入れておいた方が良い。
- 「キャリーケース(クレートなど)」という表現が良いのではないだろうか。

2 マニュアルの最初に、下記イメージ図を示すと分かり易いのではないだろうか。

イメージ図



■危機管理担当者に確認した内容

- 1 地震と風水害のマニュアルを分けている。
- 2 地震と風水害の違い

| | 地震 | 風水害 |
|-----------|--|--|
| 避難の場所の呼び方 | 避難所 | 緊急避難所 |
| 役割 | 家が壊れて行き先が無い人が長い時間生活する場所 | 緊急的に避難する場所 一晩過ごすことを想定 |
| ペットの受け入れ | 地域の人（避難所運営者）で決める。 | 一律して学校で受け入れをする。 学校と相談し、場所も決めている。 |
| 災害予知 | 予知できない。 | 台風などは、天気予報で予知できる。 |
| 職員の参集 | 震度6弱のときに参集。 | 割り当てられた職員が緊急避難所に派遣される。 |
| 自主防災担当者 | 土日祝日や夜間は、職員が参集するのにタイムラグがあるため、鍵は、自主防災の方に渡している。 自主防災の担当者が鍵を開ける。 | 自主防災は集まらなくても良い。 |
| 避難所開設 | 自主防災担当者が、避難所の安全を確認してから開設する。 | 職員 |
| 避難者の想定 | 麻生区では7500人。 避難所 25ヶ所 (1ヶ所辺り、300人) ・ライフラインが止まっても、7日間位自宅で過ごせるようにと、自宅避難を呼びかけている。 ・コロナ禍の影響もあり、必要でない人は避難所に避難しないように呼びかけている。 ・コロナ禍での避難所受け入れ人数は、100人~150人だろう。 | ・自宅等の垂直避難（建物3F以上）を呼び掛けている。 ・ハザードマップの確認も呼び掛けている。 |
| 備蓄倉庫 | 300人が3日間過ごせるだけの物資が備蓄されている。 | |

3 地域の人地震のときの行動

- 1) 一時避難場所（広い公園、校庭）へ避難。
- 2) 余震が収まったら自宅に戻る。
- 3) 家が使えなければ避難所へ行く。
- 4) 自主防災の担当者の指示があるまで、避難所の校庭で待機。

4 自主防災担当者の行動

- 1) 一時避難場所（校庭）の校門を開錠。
- 2) 余震が収まり避難者が自宅に戻っている間に、防災倉庫を開け、避難所開設マニュアル等

を出し、マニュアルに従って避難所（体育館）の安全を確認する。

3) 避難所の安全が確認できたら、避難所開設の準備をする。

- ・区割り
- ・受付準備
- ・避難者には、校庭で待機してもらう。

4) 避難所開設

- ・校門に開設の旗を設置
- ・避難者の受付開始
- ・避難所区割り場所への誘導

5 その他

1) テント、間仕切り等は、現在、1つの避難所に8個準備している。

2) 特別教室を利用

- ・感染者
- ・授乳
- ・体育館に入りきらなくなった場合（武道場）
- ・介助犬、盲導犬、聴導犬との避難者

3) コロナ感染者の避難

- ・自宅療養者の場合、基本的には保健所から指示があるが、学校の避難所に避難することもあり得る。
- ・濃厚接触者も保健所から指示がある。

4) 受付について

- ・受付の場所は、感染者やペット同行避難者のことも考えると、手前が良い。
- ・体温測定が必要になる。

5) 校門、体育館、防災倉庫の鍵は、自治会会長や近所の方が持っているケースが多い。

6) 避難所のペット受入れ可否の一覧を行政のホームページで公開することについて検討していただくことになった。

7) 車中泊避難について

- ・基本的には、車での避難はしないように言っている。
- ・避難所運営担当者（自主防災+学校）で決めることになる。

8) 公園でのテント

- ・川崎市では、避難生活は自宅か避難所としている。
- ・一時ならば仕方ないだろう。

9) 5/1 開催した黒川での防災イベントについて

- ・主催は、黒川野外活動センターと危機管理
- ・子育て世代を対象としたキャンプイベント
- ・おうちキャンプ（10：00～14：30）10組参加

■令和3年度 第1回 麻生区防災訓練運営会議

日時：令和3年5月28日（金）9：30～10：30

場所：金程小学校3階パソコン教室（麻生区金程2-10-1）

内容：地域自主防災組織と参加団体の紹介、訓練概要説明、訓練会場確認等

参加者：1名参加

■今後の予定

6月5日(土) 15:00 自治会館集合 ※ベスト着用
白鳥公園防災倉庫整理チーム、地域清掃チームに分かれ作業
定例会(自治会館1F) マニュアルM10～、資料編を検討